

# 4期目の後半は 農林水産商工副委員長と 監査委員でスタート

建設環境委員会の二年間は災害が相次ぐ近年、いかに江の川流域の整備が遅れているかを実感しました。1級河川は国の管理河川ですが、県、市町が連携して、一日でも早く堤防の整備、家屋の集団移転、宅地のかさ上げ等住民の皆さんの希望に沿った対策を進めなければならぬと思いま



また、この2年で山陰高速道路は一定の用途が立ったこともあり、土木関係予算は新しい道路を作ることから、作った道路や橋をいかに長寿命化させるか、中山間地域の落石防止対策をどう進めていく維持管理にシフトしています。

人が住み続ける為にも、地域交通を守るためにも安心安全な道路の整備は欠かせず、予算的には大きな額ですが、国からの交付金等も有効に使いながら、しっかりと進めていかねばと思えます。さて、後半の初めに当たり、委員会の構成も変わり、私は「農林水産商工委員会」に所属、副委員長になりました。委員長は田中明美議員です。委員長・副委員長がそろって女性というのは、初めてです。



(右・田中委員長)

島根県東部は7月豪雨に見舞われ雲南市は農業に大きな被害が出ました。復興に向けてしっかりと取り組まねばなりません。島根県が掲げる水田園芸を取り入れた島根農業の振興と、担い手不足に悩

む多くの農業集落をどう維持していくのかが一番の課題です。人間が生きていく為に大切な食料の供給を担う農業ですが、日本の食料自給率は力ローパーズで38% (2019年)しかありません。カナダやオーストラリアは200%以上、アメリカは130%です。国民が必要とする食料は出来るだけ自国で生産することが大切です。

既に修学旅行などで安来市の加納美術館に於いて平和学習をした学校、石見銀山に出かけたり、サヒメルや小豆原埋没林公園に出かけたところも

が落ち着けば、これをチャンスにもっと県内の観光資源に目を向けては、と思えます。

しかし国の種苗法の廃止など一連の農業関係法の改正は逆の方向へ進んでいます。委員会でもしっかり議論し、考えていきたいと思っています。商工労働部に関しては、今のところコロナ禍の影響で観光部門はかなり苦戦を強いられ、当分の間海外観光客は望めないし、県外客も難しいと思えます。しかし、県内の感染

あると聞きました。コロナ禍の一過性のもので終わらせず、足元の宝を見つけることを定着させたいと思っています。後半の2年間もしっかり課題に取り組み、一歩でも前に進めていければと思っています。

開催。画面越しでしたが、久しぶりに顔を合わせる職員さんもあり、できることなら出かけて対面です。

## 監査は多忙な日々と突込んだ意見交換



土、出雲県土、東部農振、雲南県土と地方機関が続きました。浜田方面や出雲方面に出かける予定でしたが今年例年になく大雨の為浜田方面の3か所は書面監査に、出雲方面は日にちを変えての実施となるなどコロナに加え、大雨にも祟られてしまいました。

7月、8月は本庁各課の監査日程が組まれましたが、何せ数が多いので連日監査日程が入り、膨大な資料に目を通すのも一苦労でした。事務局の職員さんによれば「2、3年に1回に減らしたり、署名監査を入れたりして以前より負担を減らしている」とのことでした。今までやってこられた皆さんは、よく文句も言わずにされていたな、と感じました。

8月で一段落し、9月議会が終わると10月からは財政的支援団体等の監査が始まり、当分忙しい日々が続きます。嫌がっていた監査委員ですが、いざやってみると会計面はすでに職員さんによる監査が終わっており、委員監査は事業内容にかかると意見交換が主となり、これが中々面白いのです。

議会議問や各委員会で意見交換の場はありますが、それよりもっと突っ込んだやり取りができませんし、分からないところは教えてもらったり、自分が職員だった時とはいろいろな面でやり方が変わっていたり、と勉強になることも多々ありました。

そしてやっぱり知り合いの職員さんと久しぶりに会うことができるのが、とても嬉しいですね。こんなことなら嫌がらずに早めにはやっておけばよかったな、と勝手な感想を抱く私でした。

早いもので4期目も2年が終わり、5月から後半に入りました。前半2年は女性で初めてといわれる建設環境委員長になりました。県職員時代には土木関係部局とは縁がなく、また建設環境委員会には所属しなかったのがなかったので、ドキドキでしたが、何とか無事努めることができました。



発行者 島根県議会議員  
はくいし 恵子  
2021年9月20日発行  
拡大版 VOL.30

**(はくいし) 事務所**  
〒690-0882  
松江市大輪町414-12  
TEL・FAX  
**0852-23-0880**  
HPアドレス  
<http://www.hakuishi.sakura.ne.jp/index.html>  
※是非、お立寄りください。

また、この2年で山陰高速道路は一定の用途が立ったこともあり、土木関係予算は新しい道路を作ることから、作った道路や橋をいかに長寿命化させるか、中山間地域の落石防止対策をどう進めていく維持管理にシフトしています。

島根県監査委員という2年任期の仕事があります。監査は「出納監査」「会計監査」「部局監査」「国の監査」等がありますが、職員だった時代に監査をされる側は準備を含めて「めんどうくさいな、いやだな」と思っていました。

最初の監査は6月1日、隠岐保健所、隠岐教育事務所、隠岐島前高校、隠岐養護学校でしたが、コロナ禍の為、県庁会議室でTV会議システムでの意見交換したかったです。特に隠岐島前高校は長年関心を持ってきた学校でもあり、現地ならもっと有意義な意見交換ができたのではと少し残念でした。

その後6月中は県央県

大きな資料に目を通すのも一苦労でした。事務局の職員さんによれば「2、3年に1回に減らしたり、署名監査を入れたりして以前より負担を減らしている」とのことでした。今までやってこられた皆さんは、よく文句も言わずにされていたな、と感じました。

8月で一段落し、9月議会が終わると10月からは財政的支援団体等の監査が始まり、当分忙しい日々が続きます。嫌がっていた監査委員ですが、いざやってみると会計面はすでに職員さんによる監査が終わっており、委員監査は事業内容にかかると意見交換が主となり、これが中々面白いのです。

# はくいし恵子の県議会報告



## 6月県議会

一般質問から抜粋  
(6/6~7/2)

## 2月県議会

一問一答から抜粋  
(2/16~3/16)

21年2月議会が2月16日から3月16日まで開催されました。新型コロナウイルス感染症が収まらない現状を反映して、多くの議員がコロナ感染症対策の質問をしました。そんな中私はあえて県民の方々から寄せられた諸問題を取り上げました。

### 学習障がい児童生徒へ合理的配慮を

質問：ジェンダー平等の実現について

【東京オリ・パラ組織委員会森前会長の女性蔑視発言について知事の見解を伺う。】

【知事】適切さを欠いた発言であり、他の出席者から指摘する発言がなかったことも問題。県でもまだ男女共同参画は不十分と受け止めている。今後あらゆる機会に啓発し、正しい理解と認識、行動が定着するよう取り組みを進める。

【2】県女性管理職の割合及び全国順位とライン職の

質問：ジェンダー平等の実現について

【総務部長】13・5%で全国9位。部長6・3%、次長4%、課長11・9%。

【3】全体の女性管理職割合は健闘しているが、意思決定機関であるライン職の女性割合はまだだ。今こそ積極的に女性を登用する時だと思いが如何。

【知事】現在、将来幹部職になることを見据えて育成的な人事配置を行っている。適材はたくさんおられるので部長に女性が増えていくものと考えている。

何時になく早い梅雨入りでしたが、今のところはそんなに降っていませんね。この調子だと、また梅雨末期の集中豪雨が心配です。6月議会では一向に先が見えないコロナウイルス関連が多かったですが、私は少し違う視点で質問しました。

### 原発避難は住民の納得が必要

質問：会計年度任用職員について

【1】会計年度任用職員は県政をともに担うパートナーであるが、正規職員との対等な協力関係が構築されていない場合もあるようだ。是正について考えを伺う。

【総務部長】県政を支える仲間である。様々な方法で情報発信し、職場内での気づきに繋がるよう取り組んでいく。

【2】給与面では一定の改善が

図られたが、休暇制度はまだ格差がみられる。改善について考えを伺う。

【総務部長】国の制度に則っている。有給にしているのは難しいが年休に関しては、来年4月から労基法に準拠するよう検討を開始している。

質問：県職員定数について

【1】職員の時間外について、特にコロナ対応に当たった保健所職員の実態を伺う。

【総務部長】月100時間を超えた者が13名。年間720時間を超えた者が3名。

【2】災害対応が常態となつていくことを踏まえ、定数管理を見直す考えはあるか。

【知事】現在R1年度の定数であるが、島根創生など新たな課題に対応するため引き続き研究していきたい。

質問：防災会議への女性参画について

【1】県の防災会議では40%を超えるが、数%に留まる市町村防災会議の女性比率を

上げる為の取り組みについて伺う。

【防災部長】県の取り組みを会議や研修会で紹介するとともに、県・市町村とも、その場に男女共同参画部局も参加することとする。

質問：原発事故時の広域避難計画について

【1】PAZ内の施設や病院在宅の要介護度別の人数は把握されているか伺う。また搬送先や避難方法、想定される屋内退避日数を伺う。

【防災部長】平成27年度の実態調査を把握。必要な車両種類ごとの準備が必要。屋内退避の期間は定めていないが、1週間程度の物資の備蓄をしている。搬送方法は施設・病院の職員、在

### 大規模事業は意見交換が大切

質問：丁寧な意見交換を大切にすることについて

【1】道路等大規模建設計画時、地域住民との丁寧な意見交換はできているか。

【知事】広域避難計画で避難に必要な事項を定めている。今後島根県地域原子力防災会議で確認し、国に了承を求めていく。

【2】住民が納得できる計画の水準といつまでにそれを達成できるか伺う。

【知事】広域避難計画で避難に必要な事項を定めている。今後島根県地域原子力防災会議で確認し、国に了承を求めていく。

【3】学校図書館活用教育を進めるための司書教諭に対し具体的な取組事例を交えた研修を行ってほしいが如何。

【教育長】H22年度からの研修で理解は深まっていると思うが、教科の広がりが少ないこと、校務により研修参加が難しいという課題がある。図書館活用教育研修受講対象を他の教員に広げる、ICTによる遠隔研修の実施などを検討している。

【2】全教職員の理解を深め、チーム学校の一員として処遇される取り組みは。

【教育長】資料の提供や教育情報誌に説明を記載し、理解の促進を図っている。市町村教育委員会や学校長から全教職員に丁寧な

【3】小・中・高への支援の引継ぎは。

【教育長】小・中・高校の引継ぎは、個別の支援計画を活用し確実に行う必要がある。引継ぎの充実に向け、市町村との連携を強化し支援計画の適切な作成と活用に努めたい。

【4】通級によるコミュニケーショントレーニングを増やす考えは。

【教育長】通級を指導する教員が複数校を巡回して指導する拠点校方式を、R3年度は出雲、浜田、4年

説明を行うなど、理解を深める取り組みができるよう支援していく。

【3】学校図書館活用教育を進めるための司書教諭に対し具体的な取組事例を交えた研修を行ってほしいが如何。

【教育長】H22年度からの研修で理解は深まっていると思うが、教科の広がりが少ないこと、校務により研修参加が難しいという課題がある。図書館活用教育研修受講対象を他の教員に広げる、ICTによる遠隔研修の実施などを検討している。

【2】全教職員の理解を深め、チーム学校の一員として処遇される取り組みは。

【教育長】資料の提供や教育情報誌に説明を記載し、理解の促進を図っている。市町村教育委員会や学校長から全教職員に丁寧な

【3】小・中・高への支援の引継ぎは。

【教育長】小・中・高校の引継ぎは、個別の支援計画を活用し確実に行う必要がある。引継ぎの充実に向け、市町村との連携を強化し支援計画の適切な作成と活用に努めたい。

【4】通級によるコミュニケーショントレーニングを増やす考えは。

【教育長】通級を指導する教員が複数校を巡回して指導する拠点校方式を、R3年度は出雲、浜田、4年

【1】県内教育委員会の受け止めは如何。

【教育長】説明会や養成研修実施を通して、全ての市町村教育委員会から理解を得ている。

【2】全教職員の理解を深め、チーム学校の一員として処遇される取り組みは。

【教育長】資料の提供や教育情報誌に説明を記載し、理解の促進を図っている。市町村教育委員会や学校長から全教職員に丁寧な

【3】小・中・高への支援の引継ぎは。

【教育長】小・中・高校の引継ぎは、個別の支援計画を活用し確実に行う必要がある。引継ぎの充実に向け、市町村との連携を強化し支援計画の適切な作成と活用に努めたい。

【4】通級によるコミュニケーショントレーニングを増やす考えは。

【教育長】通級を指導する教員が複数校を巡回して指導する拠点校方式を、R3年度は出雲、浜田、4年

【1】県内教育委員会の受け止めは如何。

【教育長】説明会や養成研修実施を通して、全ての市町村教育委員会から理解を得ている。

【2】全教職員の理解を深め、チーム学校の一員として処遇される取り組みは。

【教育長】資料の提供や教育情報誌に説明を記載し、理解の促進を図っている。市町村教育委員会や学校長から全教職員に丁寧な

【3】小・中・高への支援の引継ぎは。

【教育長】小・中・高校の引継ぎは、個別の支援計画を活用し確実に行う必要がある。引継ぎの充実に向け、市町村との連携を強化し支援計画の適切な作成と活用に努めたい。

【4】通級によるコミュニケーショントレーニングを増やす考えは。

【教育長】通級を指導する教員が複数校を巡回して指導する拠点校方式を、R3年度は出雲、浜田、4年

### 「生理の貧困」に主体性ゼロの政策企画局長・教育長

質問：人権教育としての性教育について

【1】幼い時から自分の体も相手の体も大切にすることを教えて欲しい。プライバシーゾーンについて学校で取り上げられているか。また性教育の事業時間数は。

【教育長】プライバシーゾーンは小1で取り上げていく。性教育時間は小4中1、

3高1、2、それぞれ4時間程度。

【2】境界線のルールについては教えられているか。

【教育長】境界線という言葉は使っていないが、すべての教育活動の中で自分だけだけでなく他人も大切にしようという視点をもって取組を進めている。

質問：生理の貧困について

【1】学校の保健室で渡すときは、教育ではなく支援として考え「後で返してね」ということをやめて欲しいが如何。

【教育長】養護教諭が様子を見て、頻度や家計の状況によって個別に返却を求めるところかどうか判断している。

【2】恒常的な支援をお願いしたいが所見を伺う。

【政策企画局長】国・政府がどう受け止め、どう対応されるのか注視していく。

【3】厳然として存在するジェンダーギャップに取り組みで欲しいが如何。

【知事】環境を整え、寄り添った相談支援を行い、性差による偏見や格差の解決の為に取り組みを進める。

### 農林水産商工委員会県内調査

7月15日16日、農林水産商工委員会の県内調査に出かけ雲南市の「協栄金属工業」中山間地域研究センター内にある「WILLさんいん」江津市の「真和業業生産組合」の4か所に伺いました。

協栄金属工業は、昭和46年創業当時「若者の働く場を地元で創ろう」と行政が主体となって大阪の自動車部品メーカーの工場を誘致したのが始まりです。

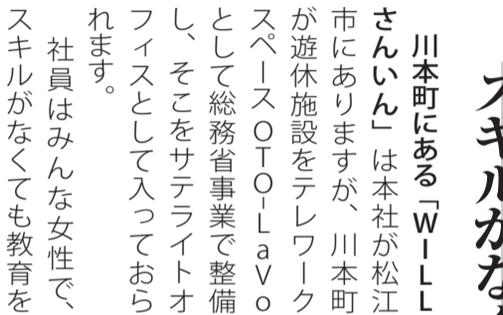
## 障がい者は強力な戦力

しかしその年円高不況が起き、親企業が倒産。「ふる里にともつた灯を消すな」と地元企業や個人商店、医師などが資金を出し合い「協栄金属工業」となります。

しかしバブル景気の後には様々な工夫をしても業績が悪化しました。現小社長の既成概念にとらわれない大改革の結果、他に類を見ないスピードで業績を回復させ、黒字経営へと転じ「地域の雇用を守っていく」という創業以来の理念を貫き、



障がい者、高齢者、女性が働きやすい職場づくりに努力されています。障がい者雇用は現在8.9%、「障がいも個性の一つ。丁寧な仕事をしてくれる強力な戦力」という社長は「障がい者を持つ社員がいることでみんなが優しくなる」と言われますが、そっくり同じ言葉と同様に障がい者雇用率8%の松江の「山陰管財」の社長も言われています。同じ言葉が聞かれたのは本当に嬉しいことでした。



60歳以上の高齢者は15人、女性社員は18人（全従業員数80名）で、育児との両立できる制度もあり、管理職が部長級8人です。

人中1人、係長級も同様と女性にも働きやすい職場のようです。

### 林業の即戦力を養成

農林大学校林業科は就職率は100%で多くが県内の森林組合や林業関係の会社に就職します。

令和2年度から定員を20名に増やしていて県外高校訪問やオープンキャンパス、進路説明会、人

気お笑いコンビ「かまいたち」を使ったPR動画をYouTube配信するなど生徒の獲得に努めておられます。

授業は即戦力となる人材を養成するため、基本的な知識や技術の習得を基本とし、実践的な学習や資格取得に重点を置いたカリキュラムとなっています。IT機器も整備

されていて特に冬場など外で実習できない時期に役立つとのことです。

### スキルがなくても働ける

川本町にある「WILLさんいん」は本社が松江

市にあります。川本町が遊休施設をテレワークスペースOTOLaVoとして総務省事業で整備し、そこをサテライトオフィスとして入っております。

社員はみんな女性で、スキルがなくても教育を

した。

屋外では生徒さんたちが伐倒練習機を使って見せてくれたり、ハーベスタを動かしてくれたり、実践的な学習の様子がよくわかりました。

新規就業者の確保はここでも大きな課題で、令和6年度に林業就業者を1072人にするのが県の目標です。近年は着々と増えていて令和2年度末に970人となり、平均年齢も46歳と若返っています。

平成30年度から県が先駆けて労働条件や新規就業者の確保、収益性向上プログラム等を進めてきた成果が出ているのかもしれない。

し、難しい仕事もあるので十分出来ること。向いている人はスキルよりもゲームやインターネットが好きで、だそう。仕事は都市部から受けているが、川本町からは「ふるさと納税業務」を委託されているそうです。

### 7月豪雨被災地調査

## 雲南市・豪雨の被害深く 復旧には長期間

今年は何度も島根県東部を豪雨が襲いました。その2回目が雲南・飯南地域に大きな被害をもたらした豪雨でした。

被害が大きかったのは雲南市で、テレビでも三刀屋の町が冠水した様子を放映していましたが、雲南市議の方々から中間部がもつと大変なので調査に来て欲しいと要請があり、出かけました。

鍋山、多久和、飯石、中野地区などを回りましたが、道路の陥没がいた

るところで見られ、裏山が崩れて土砂が家に流れ込んだ家、敷地の崖が崩れ落ちた家、牛小屋や作業場がつぶされた農家、道路から家に入る橋が落ちてしまったところ等の惨状を目にしました。

また、田んぼにも土砂が流入し、畦が崩れ、水路が寸断される等、農業被害もかなり甚大でした。後日県の担当部局に聞き取りをしましたが、調査中が多岐的な対策はこれからなるようでしたが、国に激甚災害適用申請を行っているところと聞きました。その後「局激」指定になったと報告がありました。

復旧計画ができるまで2〜3か月、復旧工事着工まで更に2〜3か月、完成まで3年以内と聞き、その間にまた豪雨が襲わないよう祈るばかりです。今年8月もお盆頃から長雨や台風が襲い、まったく油断できない気象が続いています。これも地球温暖化の影響なのか、と思うと「自分ごと」としてCO2削減を真剣

### 自由な働き方が魅力

江津市の「真和漁業生産組合」は、20代2人、30代6人、40代4人と若い人が多い組織です。

通年雇用で社会保険も充実、朝5時に漁に出て11時には港に帰り、実質その後はフレキシブルに時間を使い、子どもの参観に行ったり、副業（アフィリエイト、サザエ、わかめ漁等）をする人もいます。自由な働き方が若い人には魅力なのかもしれません。

求人はSNSやYouTube等を活用、インターシップや職場体験は積極的に受け入れ、現場では従来の船長がトップという身分制度を排し、リーダーが山本五十六の



「やってみせ、言ってみせて、させてみる、褒めてやる」を実践できるような裁量を持たせている。技術やノウハウを権利化せず、ツール化し共有するなど若い人材を育てるノウハウを実践されていることに学ばなくては大きいと思いました。



に考えなければ、とわざわざ得ません。温暖化防止に再生可能エネルギーの推進は大切ですが、あまり大規模なメガソーラーや風力発電は自然を壊すことにもなります。今は途上にあつて、大規模施設を規制する法律もないので、あちこちで反対をする市民活動があります。

自然と共存しながら、再生可能エネルギーを上手に取り入れ、地球や人間が生き残る未来に向かって知恵を出していくことが、この様な状況を作り出した私たちの責任だと感じます。

### 恵子の思い

今年度は新型コロナウイルス感染症に翻弄される1年でした。丸山知事は国に対し宣言対象県以外の県へも支援金を出すよう訴え、

大きな共感を呼び起こしました。ここでも都会と地方の格差がある、と思わずにいられます。感染防止のルールを守りながら、頑張っている県内飲食業の皆さんに協力しましょう。

### 美郷町・邑南町へ 会派調査

3月22日から23日に、2回目の県内調査に出かけました。県外調査を実施する予定でしたが、コロナ禍が収まらない状況を鑑み、県内調査としました。

### ドローンで生活を守る

1 美郷町では

環境省の手上げ方式による10/10予算を使って実施されているドローンによる「空の駅」構想のR2年度の事業概要を伺いました。全国で10か所程度試験運行をしているそうですが、県を通さない一般社団法人委託事業の為、国の予算で実施されていることも初めて知りました。

この事業をリードされているのは嘉戸町長だそうで、これからは首長のリーダーシップが問われる時代だなぁと改めて思いました。

2 邑南町では

### 「食」を 全国ネットで



町の「食」による地域振興は、つとに有名です。良い物だけ都に出すほどのロットがないことを逆手に取り、都会から邑南町に食べに来てもらう、と始めた「耕すシェア」。「高級イタリアンレストラン A J I K U R A」は、そこにとどまらず「食の学校」「新規飲食店の開業」へと広がり、町のコンセプト「地域循環型経済の確立」を目指し、着々と進んでいます。

H27年度からは、藻谷浩介氏を講師に、耕すシェア（地域おこし協力隊員）を主な対象とする「藻谷塾」を開講、また東京農大、立命館大学、ぐるなび、タニタヘルスリンクなどとの連携協力、「にっぽんA級グルメのまち連合」等全国へのネットワークを広げています。

何度も伺っている邑南町ですが、行く度に新しい構想や発見があります。日々進化している町だなあと感じます。

今回は「DIY木の学校」と「食による地域振興」の様々な取り組みについて伺いました。邑南

### 市民のための市政を期待して



松江市長選、市議選  
4月11日告示18日投票の松江市長選、市議選が行われました。私も連合議員団の1人として連合推薦の候補者の応援に駆け付けました。兎にも角にも応援した候補者が全員当選されたのが一番でした。

●松江市長選では、実に21年ぶりの市長の交代となりました。  
当選された上定新市長には、是非市民とともに歩む、市民の側に立つ市政運営を期待したいと思っております。市長は議員と違って、トップリーダーです。

●市議も新しい顔ぶれが決まりました。  
応援した、連合候補の川井弘光候補、津森良治候補が見事当選。これからは、市で意見交換をしながら、県と市の協力関係をより良いものにしていきたいと思います。

●市議も新しい顔ぶれが決まりました。  
応援した、連合候補の川井弘光候補、津森良治候補が見事当選。これからは、市で意見交換をしながら、県と市の協力関係をより良いものにしていきたいと思います。

### 性暴力をなくそう フラワーデモに参加を!



フラワーデモ@松江  
2020年2月11日、全国で広がったフラワーデモの最後の方で「性暴

力被害者支援ワンストップセンターさひめ」の主催で、松江でも開催がスタートしました。以来毎月11日に松江駅前で開催されています。

先日は、平岩弓枝作の時代小説を読んだのですが、武家社会での女性はお世継ぎを生む道具とみなされ、將軍は何人もの妻妾を侍らせ、その上、はし

こういった日本社会の女性蔑視の歴史を今も引きずっているのか、と暗澹たる思いになりました。  
性暴力犯罪刑法改正に

